

挑戦と充実した楽しみ

吉田 千晶

◎渡航先：オレゴン州ポートランド

◎派遣校：Richmond Elementary School



ポートランドに来てから、早いもので半年が過ぎてしまいました。この半年は私にとって、挑戦と充実した楽しみ、子どもたちとの楽しい時間、学びで満たされていました。同時に、自分の技量と英語力などに悩んだことも多々あります。それぞれについて、こちらの生活についても交えながら伝えれば、と思います。

まずは私の1日の生活についてです。なんととっても気になるのはどのような生活を送っているのかということだと思います。私自身も渡米前は自分が生活できるのか不安な部分もありました。参加を考えている人がこれを読んで、少しでも見通しが持てるといいなと思います。

起床の時間は大体いつも6：15です。起きて顔を洗ったり着替えたりした後、リビングに行くと、ホストファザーがすでに朝食を用意してくれています。6：30を目処に家族みんながこのリビングに集まってきて、一緒に朝食を食べます。家を出るのは大体7：15～7：30の間です。ホストの子どもたちもリッチモンド小学校に通っているので、毎朝一緒に車で向かいます。学校には7：45までには着き、8：00に子どもたちが教室に入ってくるまでの間に、プリントの設置や印刷などを済ませます。教室にはメンターの先生と二人きりなので、「週末に何したか」などプライベートの話もよくします。8：00にベルの音とともに子どもたちが教室に入ってきて、授業が終わる2：15までは子どもたちの日本語学習のサポートに入ります。（授業中に足りないプリントがあれば印刷したり、テストをした日は丸付けをしたりすることもあります。基本は子どもたちの様子を見て、サポートに入ることがほとんどです）子どもたちにとって半日が日本語での学習、半日が英語での学習となるので、大体10：45に日本語のクラスと英語のクラスのチェンジが行われます。これは子どもたちの移動になるので、その移動の間に次のクラスのために教室を再設置します（ホワイトボード消したり、プリントを整えたりなど）。

2:15に授業が終わると、2:30からチュータリング（個別指導）の時間が始まります。1日に3セッションまでなので、多い日は2:30から4:00までずっとチューターしていることもありますし、逆にチューターが1つもない日もあります（インターンによっても、その日によってもバラバラです）。チューターの後の時間や空き時間などを使って、クラスの作業もします。翌日に使うプリントや宿題の印刷、丸付け、宿題提出の日には宿題のチェックなどなど。大体行動はパターン化してきますが、特別なイベントなどを抱える前だとその準備もします。また、私の場合、メンターの先生とお喋りをしたりもするので、気づいたら1時間経ってたということもあります（笑）そして大体4:30頃に学校を出るくらいで帰宅します。家では、ホストの子どもたちとは日本語しか喋りません。私が日本語で話しかけ、子どもたちが英語で返してきたり、日本語で返してきたりします。「本当の兄弟のようね」と言われるくらいに子どもたちと遊んだりします。ご飯は基本、「みんな揃ってから」がルールなので、何か予定がない限りは揃うまでは子どもたちも待ちます。8:00には子どもたちがベッドに入るの、そのあとは両親と私の3人での時間。ムービーを見ることもあるし、それぞれが課題に向かうこともあるし、私は部屋で過ごすこともあります。ここで、ソファーに座ってワイン片手にチップスを3人でつまみながらドラマを見る時間は至福のひと時です笑。

以上が、毎日の私の生活です。週に1回、インターンのためのESLクラスがあったり、他のインターンや現地での知り合い・友達との予定があれば異なることもあったりします。また、週末には家族と出かけたり、料理を一緒にしたり、インターンとショッピングに出かけたりすることもあります。3連休以上の大型連休で予定が合えば、旅行に出かけることもあります。（シアトルは近いので土日を使って行きました！）

学校に行くと、「先生！」と呼んで話しかけてくれる生徒がいて、家に帰れば「ちあき——！」と走ってくる可愛いキッズたちがいて。学校ではインターンでも「先生」として厳しくしなければならないこともありますが、毎日子どもたちに癒されながら、メンターの先生やホストの両親と、子どもたちの成長と一緒に喜べるのがとても楽しくて、嬉しい時間です。

英語に関しては、語学留学ではない分、上達する進歩は遅いかもしれません。しかし、生徒の保護者やホストの両親とは英語で話すし、他のインターンと英語

でやり取りすることもあります。また、私は時間を見つけて、you tubeなどで英語学習の動画を見て勉強することもあります。自分次第で、英語を学習する方法や場面は多々あると思います。と言っても、こちらに来て3ヶ月経った頃には英語力に自信がなく、「英語を喋るのが怖い」と思い、悩んだこともあります。しかし、その時に閉じこもらず、nativeの会話の場にいるだけという時間の過ごし方をしたり、英語学習の動画を見て勉強したりしたのが、私にとっては良かったのかなと思います。半年経った今でも、英語力に自信があるかといえば迷わず「いいえ」と答えますが、会話を楽しむことができるくらい気にならなくなりました。ポジティブにいることが、何よりの近道だと思います。

この半年で、自分が学びたいと思っていたイマージョン教育の教育現場や子どもたちの学習ステップ、また、アメリカの教育について、多く知ることができました。しかし、もっともっと学べることは溢れているように感じています。残りの半年、次のホストファミリーとの時間を大切に、アメリカでの生活を楽しみながら、メンターの先生から学び、有意義な時間にしたいです！

